

(3) 植生断面図

a) 南北方向

N-4.1の南北方向の植生断面図を図 6.3-60～図 6.3-65 に示した。N-4.1は、尾根部に着陸帯があり、無障害物帯の外側には森林環境がみられる。北側は、無障害物帯の近傍にリュウキュウチクが生育するほか、スダジイ・イスノキ群落等がみられる。南側は傾斜地であり、無障害物帯の近傍にリュウキュウマツ等が生育するほか、スダジイ・タイミンタチバナ群落やスダジイ・イスノキ群落がみられる。

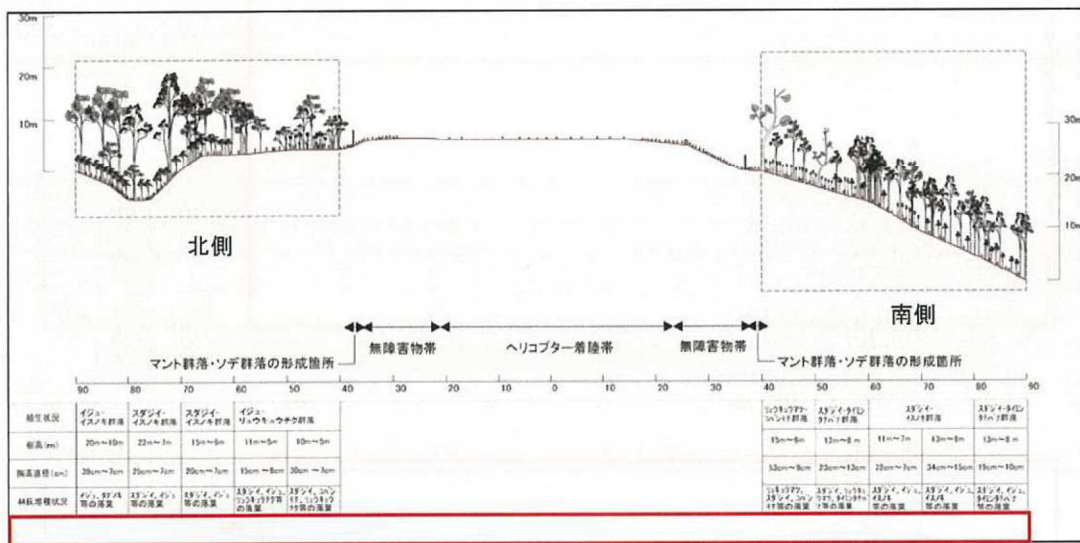


図 6.3-60 植生断面図(平成 23 年度夏季:N-4.1 南北方向)

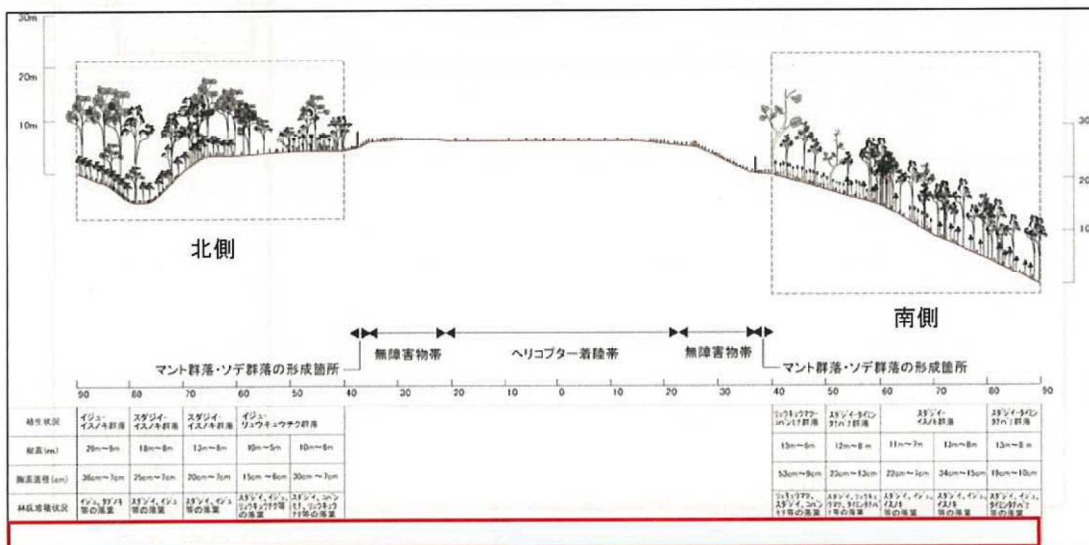


図 6.3-61 植生断面図(平成 23 年度秋季:N-4.1 南北方向)

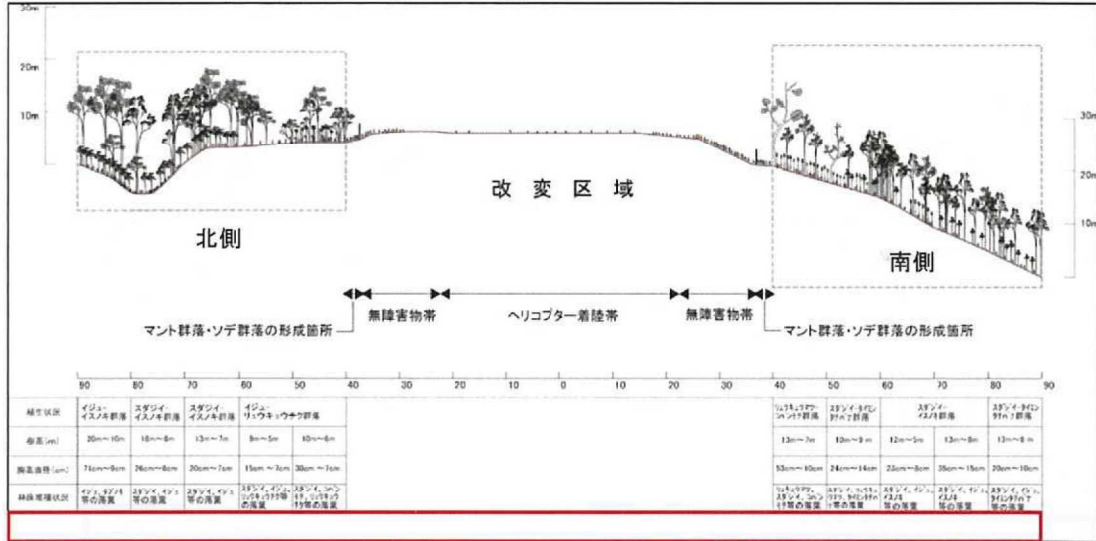


図 6.3-62 植生断面図(平成 24 年度春季:N-4.1 南北方向)

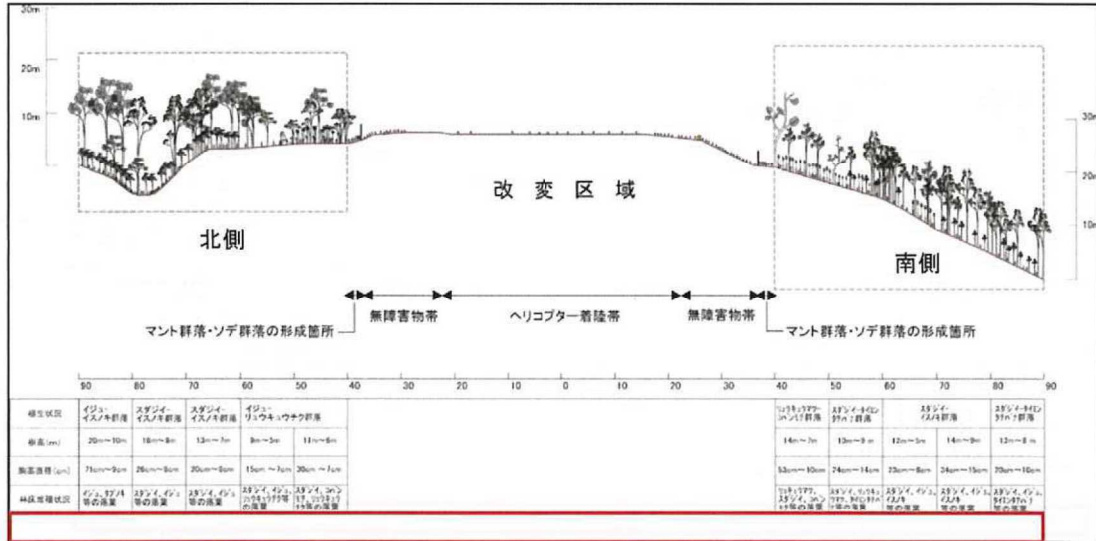


図 6.3-63 植生断面図(平成 24 年度夏季:N-4.1 南北方向)

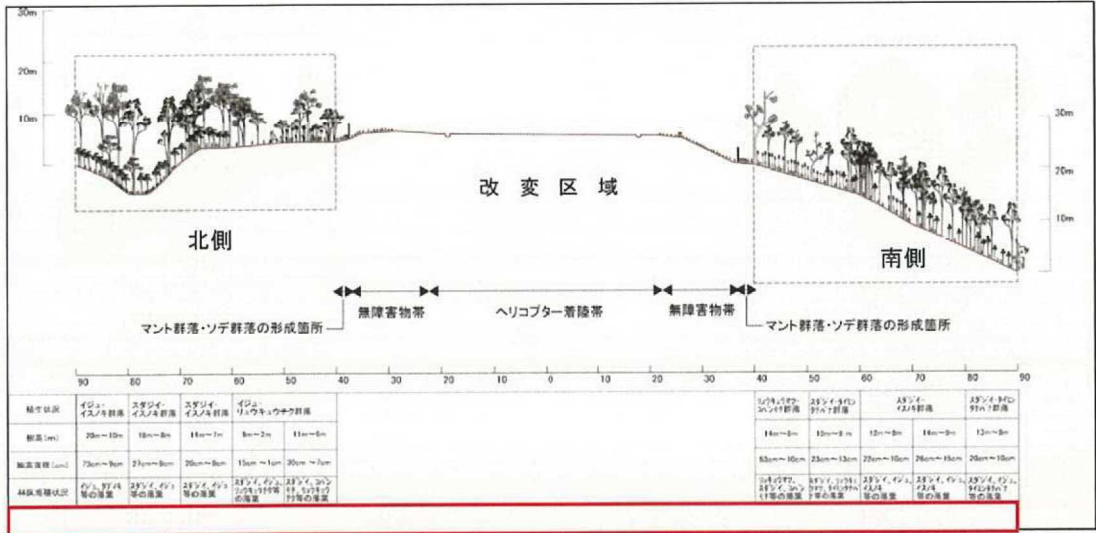


図 6.3-64 植生断面図(平成 24 年度秋季:N-4.1 南北方向)

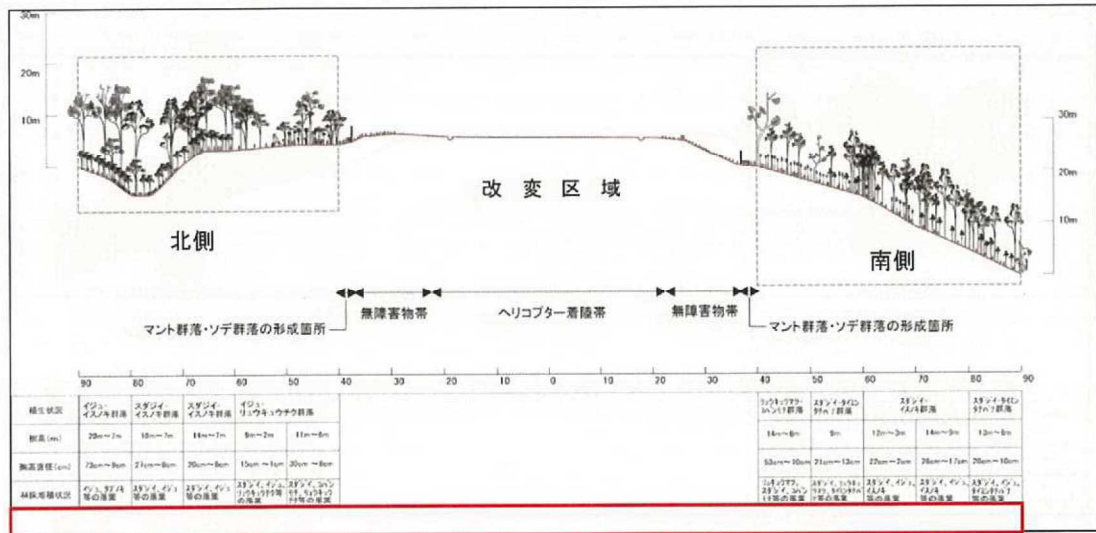


図 6.3-65 植生断面図(平成 24 年度冬季:N-4.1 南北方向)

b) 東西方向

N-4.1の東西方向の植生断面図を図 6.3-66～図 6.3-71 に示した。N-4.1では、着陸帯の両側には主に草地在広がっている。東側は、無障害物帯近傍にリュウキュウチク群落が見られ、着陸帯中心から約70mより外側ではリュウキュウマツ-リュウキュウチク群落となっている。西側は、無障害物帯近傍にリュウキュウマツ-リュウキュウチク群落が見られ、着陸帯中心から約60mより外側では、チガヤ-ミズスギ群落の草地となっている。

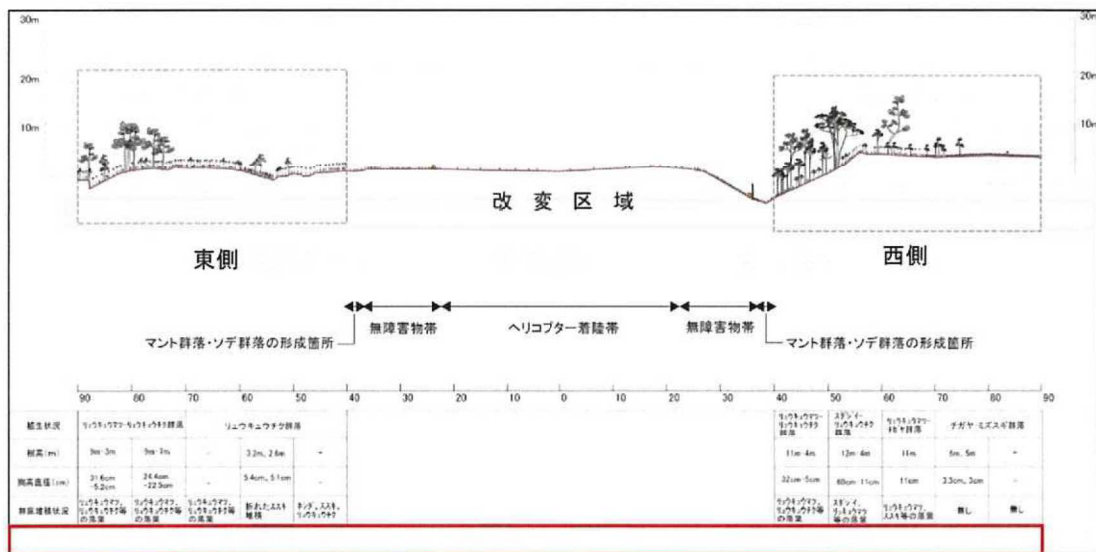


図 6.3-66 植生断面図(平成23年度夏季:N-4.1 東西方向)

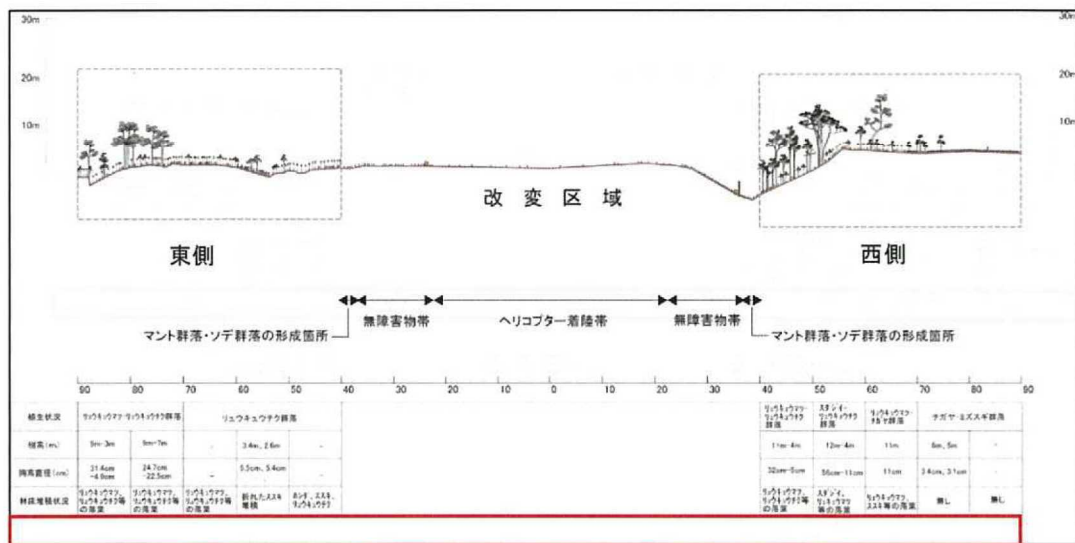


図 6.3-67 植生断面図(平成23年度秋季:N-4.1 東西方向)

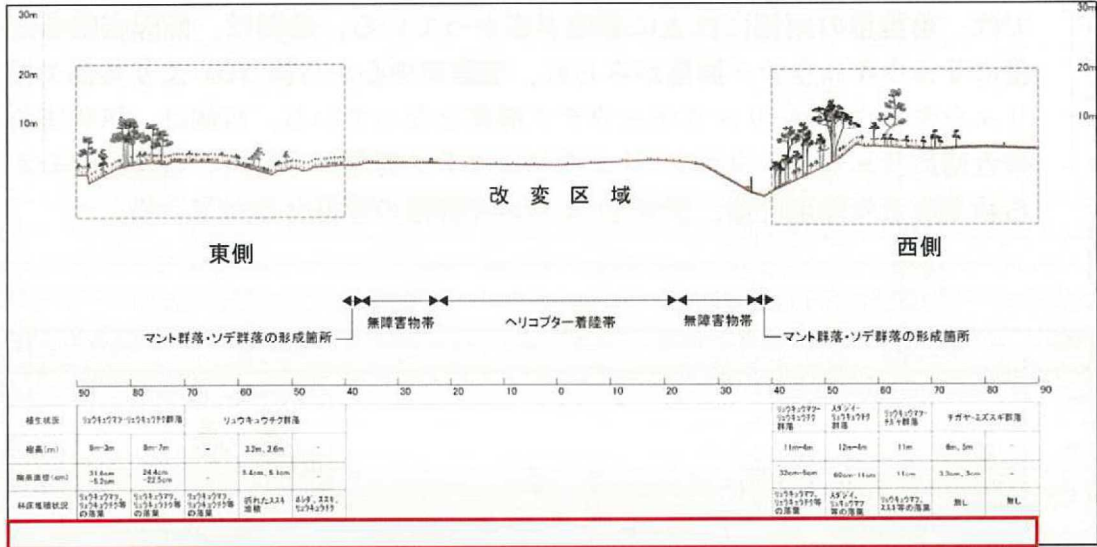


図 6.3-68 植生断面図(平成 24 年度春季:N-4.1 東西方向)

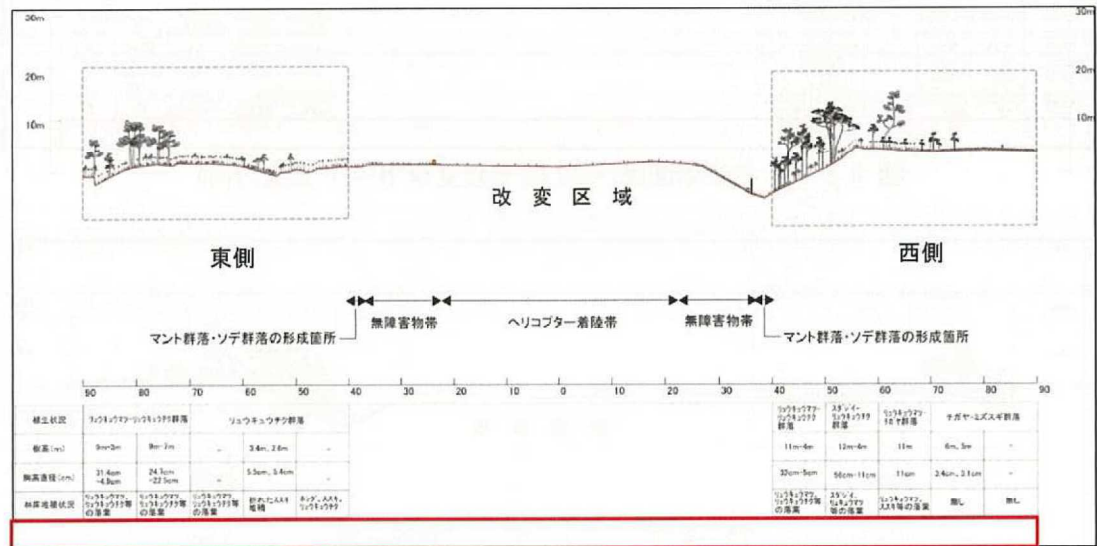


図 6.3-69 植生断面図(平成 24 年度夏季:N-4.1 東西方向)

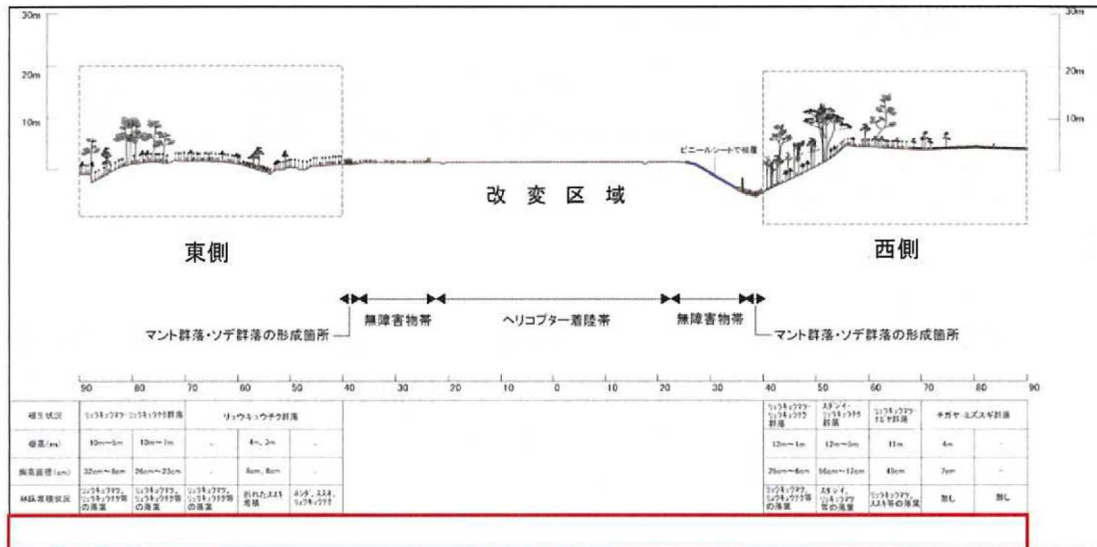


図 6.3-70 植生断面図(平成24年度秋季:N-4.1 東西方向)

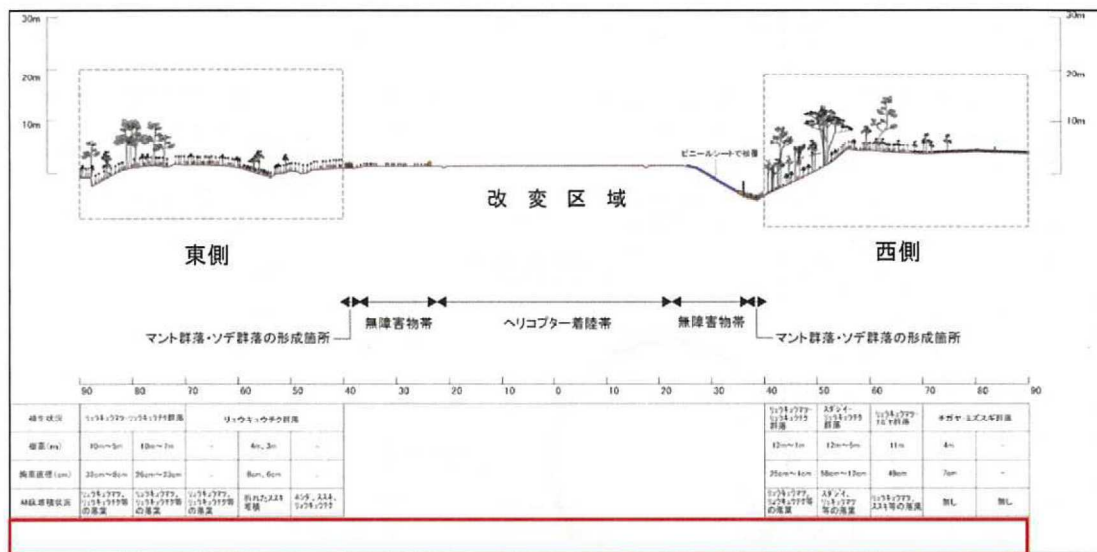


図 6.3-71 植生断面図(平成24年度冬季:N-4.1 東西方向)

### 6.3.5 早期緑化帯における植栽種の生育・形成状況

#### 1) 調査期間

本調査の実施期間を表 6.3-20 に示した。

表 6.3-20 調査期間一覧

調査年月日
平成 23 年 6 月 10 日、平成 23 年 9 月 27 日、平成 24 年 1 月 10 日、平成 24 年 5 月 30 日、平成 24 年 9 月 27 日、平成 24 年 11 月 13 日、平成 25 年 1 月 21 日

#### 2) 調査方法

調査は、マント群落・ソデ群落形成地(樹木剪定及びリュウキュウチク移植地)と無障害物帯(樹木伐採地及びチガヤ移植予定地)において調査を実施した。調査は着陸帯中央から概ね東(南東)・西・南・北側に設けた代表 8 枠(各 1.5m×3m)で調査を行った。

#### 3) 調査地点

早期緑化帯であるマント群落・ソデ群落の形成箇所、無障害物帯の調査地点は図 6.3-72 に示した。マント群落・ソデ群落は、無障害物帯の縁辺部において、その後背地が林内である場所で行った。

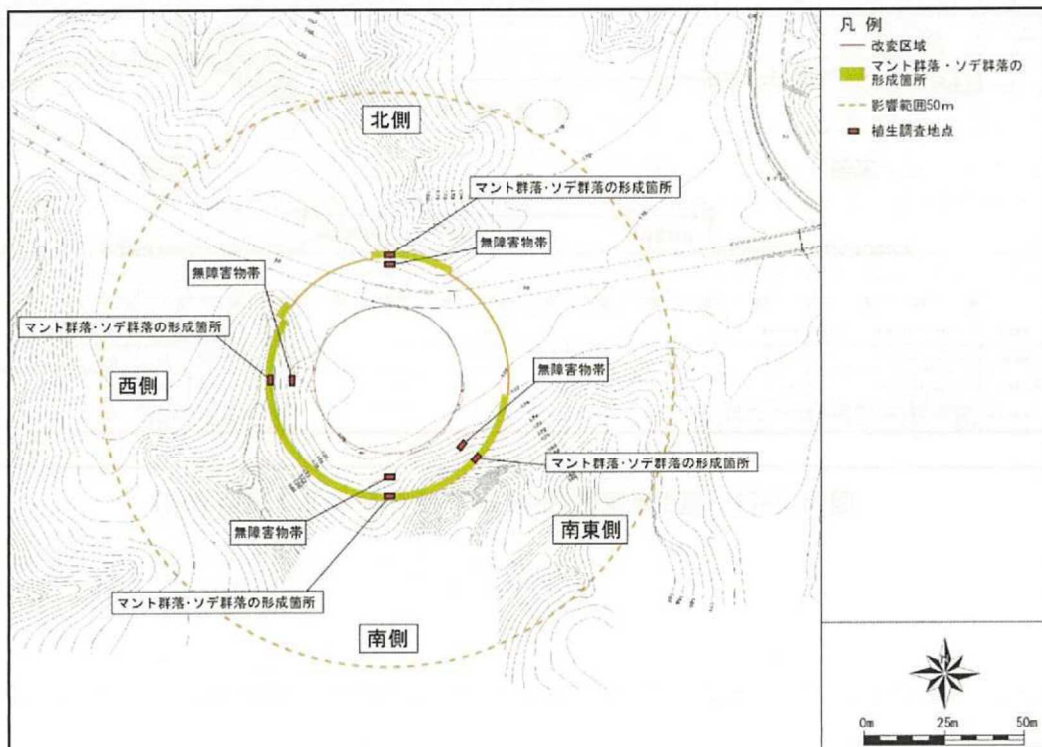


図 6.3-72 早期緑化帯の生育・形成状況調査地点